

広域異動手当細則の一部を改正する細則を次のように定める。

(令和4年10月19日学長裁定)

広域異動手当細則の一部を改正する細則

広域異動手当細則(平成19年学長裁定)の一部について、下表右欄(「現行」欄)を、同表左欄(「改正後」欄)のように改正する。
※下線部分は改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>(支給できない場合)</p> <p>第7条 広域異動手当は、職員が次に掲げる場合に該当するときは、その期間中支給しない。</p> <p>(1) 国立大学法人旭川医科大学職員就業規則(平成16年旭医大達第160号)第37条第1項第3号の規定に基づき停職にされた場合</p> <p>(2) 旭川医科大学教職員育児休業・介護休業規程(平成16年旭医大達第166号)第5条の規定に<u>基づく</u>育児休業<u>又は第15条の2の規定に基づく出生時育児休業</u>をしている場合</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この細則は、令和4年10月19日から施行し、改正後の第7条第2号の規定は、令和4年10月1日から適用する。</u></p> <p>別紙様式(第8条関係)</p> <p>(略)</p> <p>【改正理由】</p> <p>新設される出生時育児休業に対応するため、所要の改正を行うものである。</p>	<p>(略)</p> <p>(支給できない場合)</p> <p>第7条 広域異動手当は、職員が次に掲げる場合に該当するときは、その期間中支給しない。</p> <p>(1) 国立大学法人旭川医科大学職員就業規則(平成16年旭医大達第160号)第37条第1項第3号の規定に基づき停職にされた場合</p> <p>(2) 旭川医科大学教職員育児休業・介護休業規程(平成16年旭医大達第166号)第5条の規定に<u>基づき</u>育児休業をしている場合</p> <p>(略)</p> <p>別紙様式(第8条関係)</p> <p>(略)</p>

